

News Release

2019年1月7日

当社代表取締役社長 登坂正一による、太陽誘電グループ従業員向けの「2019年 年頭挨拶」の内容を以下の通りお知らせいたします。

自分の限界を決めずに、新たな世界に飛び込んでいきましょう

昨年は、自動車の電子制御化やAI(人工知能)、IoT(Internet of Things)の普及に伴うデータセンターや基地局通信装置など ICT インフラ投資の影響を受け、積層セラミックコンデンサを中心とした電子部品の需要拡大が予想をはるかに上回り、今後のさらなる成長を感じさせる1年でした。太陽誘電グループは、昨年末に竣工した新潟太陽誘電第3号棟において、3月の稼働開始に向けて準備を進めており、お客様のニーズを満たす供給体制の構築を国内外で進めていきます。

持続的な成長を実現するためには設備投資と並行して、効率化を極めたものづくりが求められます。投資効率を最大限に引き上げるため、生産性改善活動である「smart.Eプロジェクト」を継続し、発展させていかなければなりません。太陽誘電グループ全体のものづくりのレベルを向上させ、全拠点において生産性を上げることで、究極の目標であるゼロ・ディフェクト実現に向けた取り組みを加速させていきます。

太陽誘電グループのもう一つの課題が、「人」の教育です。事業規模が拡大し、世界の変化も激しい今、仕事の進め方や求められるスキルにも大きな変化が生じています。この変化に対応するためには、従来通りのやり方から脱却し、皆さん一人一人の成長が不可欠です。そのためにも、確固とした教育システムをつくりあげることが欠かせません。AIの普及が進む今、人にしか生み出せない価値を創出していくために、皆さんにはさまざまなことに興味を持って視野を広げてほしいと思います。自分の限界を決めずに自由な発想をすることで、きっと新たな答えや世界が見えてくるはずです。今やるべきことを正しく見極め、ムリ・ムラ・ムダを徹底的に排除しながら、大きなチャンスが訪れた際には迷わず飛び込める力を蓄えましょう。一人一人が自らの可能性を広げて、信頼され感動を与えるエクセレントカンパニーの実現を目指してともに成長していきましょう。